

## 平成27年度年間防災訓練計画

	訓練想定	訓練内容	訓練日時
4月	地震発生	職員は、荘内放送を入れる。利用者に対して避難時には必ずヘルメットの着用をするよう伝える。1～5号室利用者は表階段を、7～12号室利用者は非常階段を使用して避難する。	第二回会議日 16時～
5月	3・4階シャワー室より火災発生	職員は、荘内放送を入れ、利用者に対して避難時には必ずヘルメット・煙フードの着用をするよう伝える。1～5号室利用者は姿勢を低くして表階段から避難する。	”
6月	集会室から出火	職員は荘内放送を入れ利用者に避難を呼びかける。4F利用者は避難する際には姿勢を低くする。利用者・職員は荘庭に避難する。	”
7月	夜間震度7の地震が発生。火災同時発生。荘全体に延焼。	緊急地震速報を模した荘内放送を入れ、自宅待機を呼びかける。1分後、避難指示の放送を入れる(この間に各担当職員は廊下及びトイレの電気を消し、ボイラー室、乾燥機室前で煙玉を焚く)。利用者に対して注意喚起し、利用者・職員はヘルメット・煙フードを着用の上避難する。避難時には利用者・職員は必ず非常階段を使用する。訓練時には各階担当職員の方で煙玉を使用し煙を発生させる。	第一回自治会 懇談会日 19時～
8月	娯楽室から出火	夏休みの子どもの多い時間帯に発生。職員は荘内放送を入れて直ちに避難を呼びかける。少年指導員は学童を引率して避難。避難時には必ずヘルメット・煙フードの着用を呼びかける。利用者・職員は荘庭に避難する。3F利用者及び、娯楽室利用中の利用者・職員は姿勢を低くして避難する。	未定(予定にあ わせて入れま す)
9月	AM10時地震発生	午前中の訓練。地震が発生し、利用者・職員は荘庭に避難。その後小学生の母はお迎え訓練(学校側)に参加する。母不在の学童については職員が対応。	始業式(防災 の日)
10月	地震発生	緊急地震速報を模した荘内放送を入れ、自宅待機を呼びかける。地震により強い揺れを感じる。利用者・職員は速やかに荘庭に避難する。	第二回会議日 16時～
11月	にじが丘保育園合同訓練	にじが丘保育園給食室より出火。当荘へも保育園より連絡が入る。煙フード・濡れタオルの着用を促し、速やかに広域避難場所(虹ヶ丘公園)へ避難をする。	18 or25日 16:00～
12月	地震発生	地震発生。大きな被害あり。ただちに避難を呼びかけ利用者・職員はヘルメットを着用の上荘庭に避難。	第二回会議日 16時～
	地震発生・炊出	名古屋市内で震度7の大地震発生。にじが丘荘の建物に倒壊の危険がないと判断し、にじが丘荘に戻り避難生活をする。防災備蓄品その他、各家庭の食品を持ち寄り避難生活を始める。	大掃除後
平成28年1月	火災発生	306号室・406号室から出火。各階利用者・職員は必ず煙フードを着用して避難する。	第二回会議日 16時～
2月	3・4階シャワー室から出火	激しく燃えており、3・4階1～5号室の利用者は姿勢を低くしての避難を呼びかける。職員も同様に避難する。	”
3月	夜間21時。大地震発生。火災発生。職員体制は2人。	表階段は一部損壊し、使用不可能。激しく損傷したため、荘全域から火災発生。煙充満。視界全くない。至る所から煙が出ており、避難時には必ず煙フードの着用を呼びかける。職員も同様に着用する。各階担当職員は煙玉を焚き煙も発生させる。	第三回自治会 懇談会日19時 ～

※地震訓練の想定は震度6弱以上の地震を言います。

※自治会懇談会日には通報訓練を行う。なお、消防に事前に届出を行う。

※12月大掃除後に、炊き出し訓練を実施する。

※毎月の避難訓練時において、初期消火訓練を実施する。

※初期消火訓練は全利用者の母すべてに経験をしてもらう。